



今月のみさとし／一人の心が感謝する時、そこに美しい人間が出来ます。家庭が出来ます。(ご聖訓第七巻97頁)

## 第82回 太陽精神碑建立記念祭

# 日本の繁栄と世界平和への貢献を誓う

緊急事態宣言下、建国記念の日の2月11日に令和3年度最初の六次行事である第82回太陽精神碑建立記念祭が、全国会員代表者が参集の下、御霊地にて開催された。



第1部・太陽精神碑前之儀 岡野理事長が奉告文を奏上



第2部・記念式典で誓願文を奏上される岡野理事長



式辞を述べる岡野理事長



勤行・コロナ禍の終息を願い心ひとつに祈る



服部常任理事発声による万歳三唱



お山の受付で参加者に検温や殺菌消毒を行う青年部奉仕

好天に恵まれる中、午前8時45分より岡野英夫理事長はじめ本部役員らが祭典の無事を祈る奉告祭を執り行った。

午前9時からは青年部がお山内の3カ所に設置された検温所にて検温、手指の消毒、マスクの確認、パンフレット配布などを行った。尚、今回はアイフェイススキャナー（AI顔認証＋非接触体温検知ソリューション）を使用して検温が行われた他、ソーシャルディスタンスのため間隔をあけた椅子席とするなど、さまざまな新型コロナウイルスの感染予防対策が整えられた。

午前10時より、金剛さまが「祖先の汗と涙と肉と骨との結晶」と示された、

「米」「麦」「豆」「粟<sup>あわ</sup>」「蜀黍<sup>もろこし</sup>」の五穀が供えられ、太陽精神碑前にて、第1部・太陽精神碑前之儀が開式。今回は新型コロナウイルスを考慮して理事参与以上の役員のみでの参列で執り行われた。

続いて午前11時15分より御霊地お山にて第2部・太陽精神碑建立記念祭式典が開式。国歌、太陽精神碑の歌斉唱、尊者のみ声拝聴に続き、岡野理事長が国旗に向かい、誓願文を奏上された。

式辞の中で岡野理事長は「国難とも言うべき今、金剛さまの御弟子として、太陽民族の子孫としてその崇高なる精神に感謝し、そのことを日夜忘れずに務め、新しい時代を迎えるにあたり、社

会の立て直しに泰然の覚悟で進んで参りましょう」と述べられた。続く来賓祝辞では、三宮幸雄北本市長からのお祝いのメッセージが代読された。

最後に、服部宇之輔常任理事の発声による万歳三唱をもって終了となった。

祭典の一部始終は東京ブロック青年部OB協力のもと、インターネットを通じてライブ配信された。その中では参加者へのインタビューも行われ、コロナ禍にあって参加した喜びの声や建碑祭のお祝いメッセージなどを伝えた。尚、この日に配信された映像は解脱会ホームページ会員専用ページから視聴することができる。

令和3年 節分会

# 春の到来を祝し、コロナ禍の早期終息を祈願

明治30年(1897年)以来、124年ぶりに2月2日が節分となった今年、本会では、2月1日報恩日終了後に御霊地、本部道場ならびに各直轄道場で節分会が行われた。今回は新型コロナウイルスの影響により、出講者が代表して三声一声で豆まきを披露して春の到来を祝った。尚、参加者には、だるまや福銭などのお供物が配られた。



本部道場

早川常任理事の三声一声が会場内に響いた



御霊地道場

御霊地で声高らかに豆まきをする岡野理事長



中部道場

本年の年男と年女11名が豆まきを行った



関西道場

豆まき式に先立ち西村常任理事より講話を頂く



湘南道場

福井理事が正面に立って、威勢よく三声一声の豆まきを披露



札幌道場

新型コロナウイルスの収束を祈り、山本布教本部員が豆を撒く

## 令和3年度 本部全体会議

# コロナ禍で創意工夫を重ねつつ活動の展開を



活発な意見が持たれた圏域会議 (東京圏域)



各教区に分かれ忌憚のない意見が飛び交う (北関東圏域)



札幌道場にて圏域のzoom会議を行った (北日本圏域)



オンラインで斉に行った拝礼行事 (関西・西日本圏域)



実のある圏域会議が進められた (湘南圏域)



山形浜中支部にて岡野理事長の挨拶を視聴 (北日本圏域)

本年の本部全体会議は1月30日に開催された。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年は御霊地に全国役員一堂に会して1泊2日で行われる会議を1日に集約し、「コロナ禍における今後のあり方」をテーマに、本部道場をメイン会場に全国7カ所をつなぐ初のオンライン開催となった。

午前10時半に開会。国歌斉唱、拝礼行事、辞令交付が行われた。

その後、岡野英夫理事長は挨拶の中で「霊性の浄化と魂の覚醒によって人格の完成をはかることは、物質文明から精神文明へと移行する新しい時代の最重要課題」とし、「デジタル化が進んだ社会では、広い人脈や質の高い情報が重要なカギとなる。IT産業が急速に発展する時代に青年層の知識、能力、才能を十分に活かし、幅広い年齢層の会員がその特性や個性を発揮して一致団結して生き活きと学び活

動する新生の解脱会を創ってまいりましょう」と呼びかけた。続いて、宮坂保徳教務局長より「本部布教活動方針」が伝えられた後、各会場で圏域会議が行われ、コロナ禍による様々な工夫などが話し合われた。

初めてのオンラインでの全体会議は、岡野理事長の「むすび」で締めくくられ、コロナ後の布教活動の展開に向けた新たな出発点となった。

## 雑司ヶ谷支部 70周年記念感謝会

## 金剛さまの御真筆の下、躍進を誓う

雑司ヶ谷支部では1月17日、支部開設70周年記念感謝会を開催した。

当支部は、戦前より仲澤虎次郎支部長を中心に多くの会員が活動していたが、終戦後の混乱などから支部を継続できなくなり閉じた。昭和25年7月、当支部会員だった矢嶋栄治氏が、先覚者の齋藤彦太郎氏や本部の指導を受けながら再興し、初代支部長に就任。その後、同47年3月に矢嶋章八氏が二代目支部長を、平成24年5月に矢嶋幸一氏が三代目支部長を継承した。

当日は、当支部に納められた金剛さまの御真筆「天神地祇」「皇祖皇太神」を本部の指導の下で御神前にお祀りし、その

御神前開きも併せて行われた。御真筆の額装には会員から感謝の真心が寄せられており、その他、支部道場の畳と障子も会員の真心により真新しく調えられるなど、支部会員一同にとっては、心機一転を図り一層の向上をめざす再出発の日となった。

記念感謝会の中では、副支部長の交代も行われた。旧副支部長の2名は、長年、お役目にお使いいただいた感謝と更に学びを深めることを誓った。また新副支部長の2名からは、支部長を支えて更なる支部発展のために尚一層精進する決意が述べられた。



なお、この日はコロナ禍の緊急事態宣言下ということから、支部御神前に集う人数を制限し、会員の各家庭へオンライン配信されたが、オンライン配信によって、当日を親子孫三代での参加が増えるなどの思わぬ喜びの成果が見られ、新たな形の感謝会につながる貴重な機会ともなった。

## 天皇皇后両陛下下御写真額のご案内

この度、天皇陛下御即位を寿ぎ、全国各地のご家族や職場、地域から皇室敬慕の気運を一層盛り上げるため、御即位時の両陛下の御正装御写真をお納めした特別額をご紹介します。

一口12,000円のご寄付で、一口あたり御写真額一枚をお送りいただけます。

各支部でまとめて申し込む場合は、昨年11月に支部通信にて各支部へ郵送しましたリーフレット『天皇皇后両陛下下御写真特別額』の申込書をご利用ください。

個人で申し込む場合は、郵便局の払込取扱票(赤色)にお届け先、申し込み口数をご記入の上、ご送金ください。



サイズ:縦387ミリ×横485ミリ×奥行14ミリ、額縁/木製

■送金先 口座番号 00130-9-488004  
加入者名(送金先) 御写真額普及協力会

■御写真額普及協力会(担当 和田)

〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-10-1-601  
電話:070-1185-2814 FAX:03-5428-3724

## 奉賛会体験

## 母の信念と奉賛会の入会

名古屋西味鋤支部 松原 儀明



奉賛会に入会して今年で40年となります。きっかけは母との約束です。就職も決まり、高校卒業まで間近のある日、就職後に2つのことを母から頼まれ、その1つが奉賛会への入会でした。なぜとは思いましたが、母への恩返しにしたいと思います。

そして入会して2、3年後、知り合いから土地込みで家の購入を勧められる話がありました。その家は大工である私の父が建てていましたが、依頼主が亡くなり建設途中のまま止まっていたのです。当時、私が住む家は親戚の土地を借りており、結婚を考

えるところかにかに家を購入しなければと考えていた中での話でした。

とは言え、当時の私は20代前半と若く、購入はまだ無理なのではと思っていましたが、不思議にもすんなりと銀行からお金を借りられ、とんとん拍子で購入できました。購入後はお金がないのでしばらく建てかけのままでしたが、結婚が決まった時に住めるよう最低限を整えて徐々に2年かけて完成に至りました。

そして25歳で結婚、3人の子供に恵まれ、三世代7人で生活しておりましたが、私が41歳の時に母が、46歳の時に父が霊界入りしました。親を亡くしてからが私にとって本当の意味で教えに向き合うこととなり、その土

台となったのが、母から教わった奉賛会を通しての信念、父の姿から学んだ支部への足運びです。

今思うと、全てが不思議な運びだったの思いです。小学生の頃、支部感謝会での先生の言葉を鮮明に覚えています。

「お札はアイロンをかけてきれいに伸ばし、使う時には『また友達を連れて帰ってきてね』と言って使うんだよ」

これは、お金の大切さと使い方の勉強だったと思います。

私は積極的な入会ではなかったですが、奉賛会に入会させていただいたからこそ家も授かり、有り難く運ばれてきたのだと思います。父亡き後、妻も入会させていただきました。微力ではありますが、少しでもお役に立てるよう今後も夫婦で続けていきたいと思っています。

スポットライト

# 長寿 百歳を祝す

東京第4教区・梅屋敷支部 宮崎 國男



宮崎國男名誉支部長が百歳を迎え、1月9日の支部初会にて会員から温かい祝福を受けた。大正10年2月27日、東京大田区生まれ。青年期から教区の青年部長を務めるなど学びを深め、教区長等の役目を歴任。母親から2代目支部長を継承し、3代目支部長を長男へ継承した。また町会役員に貢献し地域の人望も厚い。長寿の秘訣は「過ぎたことをくよくよせず明るく前向きに考える」と語る姿は、会員の手本となっている。

令和2年12月15日の感謝日終了後、21年間のアナウンスの奉仕に対して、解脱会本部は高鹿庸子さんへ感謝状を贈呈した。

スポットライト

# 美声アナウンス奉仕を21年間

東京第5教区・六月支部 高鹿 庸子



感謝状贈呈の後、岡野理事長と共に

令和2年12月15日の感謝日終了後、21年間のアナウンスの奉仕に対して、解脱会本部は高鹿庸子さんへ感謝状を贈呈した。

平成11年の大祭から昨年の御生誕

祭までの多くの行事で、高鹿さんはアナウンスを務めた。きっかけは、専科ではなかったもののアナウンススクールで学んだことから、解脱会本部の奉職中に大祭行事前後の放送を担当したこと。退職後は放送から離れていたが、当時長年にわたりアナウンスをしていた前任者から、共に放送をした縁で本部へ推薦され昨年まで務めた。

高鹿さんは「当初は大祭が固定日で、平日は子供たちを小学校と幼稚園に送り出してから、二日間通うのが大変でした」と始めた頃の苦労を、また「家族や親戚が本当に喜んでくれて、沢山の方から応援していただきました」とお役目から得た喜びも語ってくれた。

## コロナ禍の終息を願い萬部供養に申し込みましょう

萬部供養は、金剛さまの御法力と「神宝」と呼ばれる御五法、そして陀羅尼經の功德により、靈魂が安靈するだけでなく、いきいきとはたらいいただける大変尊く有り難い供養です。新型コロナウイルス感染症の終息に向けて萬部供養の申し込みを督促いたします。

### 新型コロナウイルスに関する靈名について

世界的に蔓延している新型コロナウイルス感染症の終息を祈る萬部供養、並びに天茶供養札における靈名は、右記の通りとなります。「法界無縁萬靈」以外の靈名は、「個人靈及びその他の靈」の欄にご記入をお願いいたします。

萬部供養は、申し込む時の「意志」が大切ですので、申請時には、どの靈魂を申し込むかを支部長や家族とよく話し合い、支部御神前でご挨拶を申し上げてから申し込ませていただきます。

お問い合わせ先：調札部 TEL:03-3353-3555

- 「法界無縁萬靈」
- 「世界人類生靈無縁之靈」
- 「世界人類敵味方無縁之靈」
- 「新型コロナウイルス感染症犠牲者之靈」
- 「新型コロナウイルス感染症罹患者各家祖先代々之靈」
- 「新型コロナウイルス感染症医療従事者各家祖先代々之靈」



五智如来堂にて執り行われる萬部御法楽

### 春季大祭の申込メ切は4月15日

(各支部のメ切日は異なりますのでご注意ください)

## 女性講座かたばみ会 ライブ配信

「女性講座かたばみ会」(首都圏女性部主催)では、セラピストでもある本会常任理事・岩田豊美先生を講師に迎え、み教を生活に生かすための学びの講座を、解脱会ホームページ会員サイトを通じてライブ配信します。

- 年間テーマ「み教を生活に生かす！」
- 開始時間：13時30分より
- 日程：4月25日(日)・6月25日(金)・9月27日(月)・11月24日(水)
- 視聴方法

- ①パソコン、スマートフォン等で「解脱会ホームページ」を検索する。(スマートフォンでは、ニュースレター1面上部のQRコードから、「解脱会ホームページ」を開く)
- ②絵馬のイラストの「会員専用ページ」を選び、右のパスワードを入力する⇒「女性部のページ」を開き、「女性講座かたばみ会」<ライブ配信>をクリックする。

●お問い合わせ：布教部 ☎ 03-3353-3706

## パスワード変更のお知らせ

令和3年3月1日～令和3年8月末日

### 新パスワード：2121

ホームページの会員専用パスワードを変更しました。これまでは4月1日と10月1日の更新でしたが、諸々の理由により1ヵ月早めることになりました。ご理解ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

